

- 社会科 (歴史的分野)
- 単元名 日本人のルーツと縄文時代 (2時間扱い)
- ねらい 日本列島の成り立ちと日本人のルーツについて関心をもたせ、縄文時代は土器の使用によって生活が大きく変化したことを理解する。

### ○日本人のルーツと縄文時代

1時間目

#### 【主な学習活動】

- ・岩宿や野尻湖から出土した遺物から、旧石器時代の生活の様子を調べる。
- ・縄文時代の遺物やイラストをもとに、縄文時代の人々のくらしの様子を考察する。

#### 【主な発問】

- ・大陸と陸続きだった頃の人々の生活はどのようなものだったのだろう。
- ・氷期が終わり、日本列島になった頃の人々の生活はどのように変化したのだろう。

#### 【指導上の留意事項】

- ・大型動物の骨や打製石器などから、日本に旧石器時代があったことに気付かせる。
- ・土器の使用や石器の変化に着目させ、食料の変化、定住など、生活が変化していったことに気付かせる。

### ○日本列島の誕生とひろしま

「郷土ひろしまの歴史 I」P. 6～8 を活用

2時間目

#### 【主な学習活動】

- ・帝釈峡遺跡群の5つの地層で確認された出土品を調べ、広島県に住んでいた旧石器時代や縄文時代の人々の生活の様子を考察する。

#### 【主な発問】

- ・旧石器時代や縄文時代に広島県に住んでいた私たちの祖先はどのようなくらしをしていたのだろう。

#### 【指導上の留意事項】

- ・P 7 の図「帝釈馬渡岩陰遺跡の地層の断面図と出土品」の各地層から出土する遺物の変化から、生活の変化に気付かせ、自分の言葉でまとめさせる。



- 一番古い地層の5層からは、やり先につける石器(尖頭器)の破片やオオツノジカの骨が出土しているから、広島県にも獲物を追って狩りをしていた祖先がいたんだ。
- 第4層からは、尖頭器も出土しているけど、土器や石鏃(矢先につける石器)も出土しているよ。第4層よりも新しい地層からは尖頭器などは出土しないから、この時期に大型動物が絶滅したんじゃないかな。
- 大型動物が絶滅したということは、この時期に日本列島ができ、縄文時代が始まったと考えられるね。
- 土器や石鏃といっしょに、タヌキやイノシシの骨やシジミの貝がらなどが出土しているから、大型動物を食べていた頃から食料が変わっていったことがわかる。
- おもり(石錘)が見つまっているから、川魚も食料にしていたんだな。
- 他の地域では、どんなものが出土しているんだろう。